

令和 5 年 6 月 12 日現在

機関番号：14701

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18H01606

研究課題名（和文）住み継ぎの段階性に着目した集落を継承する少人数社会システムの構築に関する研究

研究課題名（英文）Research on the construction of small social system for succeeding to the rural community, focusing on the gradation of residential succession

研究代表者

佐久間 康富（SAKUMA, YASUTOMI）

和歌山大学・システム工学部・准教授

研究者番号：30367023

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、少人数の担い手を前提として、住まいやなりわいの場である集落を、いかに住み継がれることができるかを課題としている。多様な担い手によって、集落の居住を次世代へ継承しようとする営みを「住み継ぎ」と定義し、以下を明らかにした。住み継ぎの要因は、継承されるものを具体化することが効果的であることを導いた。その手法について、第三者が介在すること、信頼に見える化することが効果的であることを明らかにした。地域内部に軸足を置いた地域内外の関係への政策的働きかけから、少人数でも地域が住み継がれる社会の展望が描かれる。これらを、『少人数で生き抜く地域をつくる』（学芸出版社、2023年3月）としてまとめた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

2014年からはじまった地方創生政策以降、各地域で人口増を目指す施策展開が目指され、移住を促すための都市住民の意向調査や移住者と地域住民に着目した研究が重ねられている。「住み継ぎ」という概念を手がかりに、必ずしも人口増ではない、少人数で地域社会を継承することを前提とし、継承されるものの具体化、第三者の介在、信頼の見える化といった研究で得られた知見によって、その社会的なシステム構築にむけた地域社会の展望を描いたところに本研究の意義がある。

研究成果の概要（英文）：This study focuses on the issue of how a small numbers of community members can pass on the village to the next generation. We defined "livelihood succession" as an activity in which various supporters try to pass on the community to the next generation. We clarified the following.

The factors of livelihood succession are effective in making tangible what is to be succeeded to. It is effective to have a third person present and to make trust visible in terms of the method. It is important to build relationships within and outside the community with a focus on the community itself. As a result, a society in which even a small number of people can continue to live in the community can be expected. These discussions were published in the book, "Creating a Region that Can Survive with a Small Number of Communities" (Gakugei Shuppansha, March 2023).

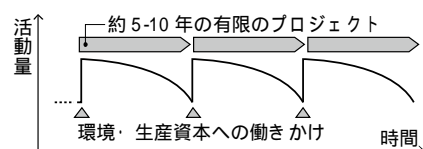
研究分野：建築・都市計画

キーワード：集落 住み継ぎ 空き家 なりわい 少人数社会

1. 研究開始当初の背景

わが国は人口減少社会に入り、地方創生の政策展開の中で人口減少の推移を緩やかにすることが政策目標になり、いわば人口獲得競争といえる局面にある。しかし、総人口の減少が国立社会保障・人口問題研究所で推計されている中、移民を受け入れない限りは、多くの市町村で政策目標を達成するのは困難であろう。昭和・平成世代、団塊の世代が退場しつつある時代を見据え、集落環境を維持管理する担い手が減少する中での国土保全・適正管理が課題となる。少人数を前提とした住まいやなりわいの場である集落をいかに住み継ぎ、次世代に送り届けることができるかが課題である。

一方、過疎地域においては 40 年近く少子高齢化と向きあってきた。「田園回帰」と言われるように現役世代の移住が増加傾向にあるが、移住に際しては住まい、なりわい、コミュニティの 3 つの課題がある（佐久間ほか 2016）。この 3 つは相互に関係しており、課題解決のためには単純な人口増を政策目標にするのではなく、少人数社会を前提にし、20 から 40 代を中心とする現役世代の移住を含めた地域外住民との多様な関わりの裾野を広げ、質的に新しい価値を生み出し、集落を住み継ぐ仕組みづくりが求められている。人口減少社会の課題先進地である過疎地域において少人数社会システムのあり方の一端を見いだすことができれば、都市部・郊外部の地域でも援用可能な政策の枠組みとなることが期待される。



定住局面			通い・二地域居住局面						
財産の継承	地縁組織役員	地縁組織参加	移住	お試し移住	二地域居住	他出後通い	交流	無住後の通い	通いなし無住
定住			通い						

住み継ぎの段階性: の概念図: 「定住」以外にも地域には多くの関わりの段階があり、「定住」にも一定の段階がある。「移住」のみが政策目標になりがちだが、通いや定住にも多様な関わり方がある。多様な主体への政策検討のために各段階へのプロセスを丁寧に解明する必要がある。

2. 研究の目的

本研究では地域外住民も含めた多様な担い手によって、集落の居住を次世代へ継承しようとする営みを「住み継ぎ」と定義し、1) 集落に関わる各主体により地域がどのように住み継がれていくのか、インタビュー調査により各担い手のライフヒストリーを明らかにし、地域への多様な関わりを表した「住み継ぎの段階性」による分析から、その住み継ぎの要因を明らかにする。2) 住み継ぎの要因に対して、政策的にどのように働きかけることができるのか、その契機を分析し、住み継ぎを可能にする手法を明らかにする。以上から、集落居住を継承するための少人数社会システムの構築にむけた政策的枠組みを得ることを目的とする。

3. 研究の方法

目的1) 「住み継ぎの段階性」に着目した住み継ぎの要因: 住み継ぎの段階性の各段階にいる担い手に対するインタビュー調査による。調査によって得られた各主体のライフヒストリーを図式化することで、どのような段階を経て現在の段階にいるのか、またその契機となったことを明らかにして、住み継ぎの要因を明らかにする。

目的2) 住み継ぎの要因に対する働きかけの手法: 上記のライフヒストリーの各段階において、どのような維持管理活動が行われ、どのような政策的支援が契機となったのかを明らかにすることで、必要な施策を整理する。各担い手を重ね合わせた分析を通じて、必要な手法を明らかにする。

以上から、少人数でも住み継ぐことができる社会システムの政策的枠組みの構築を目指す。

4. 研究成果

(1) 研究の主な成果

住み継ぎの要因については、なにを継承するか具体的にすることが効果的であることを導いた。「地域を継承する」といっても抽象的で主体間での共有が難しい。空き家、街並み、祭礼、なりわいといった具体的なものであれば共有することが容易であるし、一度、継承されると先行事例を参考に取り組みが広がっていく様子を確認することができた。

また、どのように継承するかという手法については、第三者が介在することが効果的であること、信頼を見える化することが効果的であることを明らかにした。これまでは地域は血縁を中心に意識化せずとも住み継がれてきたが、血縁だけでなく血縁外の主体、外部人材への継承へと対象が広がるなかで、どのように信頼関係を構築していくかが鍵になる。住み継がれる側と住み継ぐ側の責任と作法が双方向であることが重要である。そのためには異なる立場の両者をつなぐ第三者の仲介が効果的であり、市民出資の株式会社に代表されるように信頼を見える化することが効果的であることを明らかにすることができた(柴田・2023)。

そしてこうした住み継がれる主体と住み継ぐ主体の地域の内外の関係を構築する際、外部人材への政策的な働きかけが中心となるが、内外の関係の軸足は地域の内部にあり、地域の内部への働きかけも求められるといえる。地域の内部へ軸足を置いた地域内外のネットワークによって、地域が住み継がれる社会の展望が描かれるのではないが。

以上の成果を、書籍『少人数で生き抜く地域をつくる 次世代に住み継がれるしくみ』（学芸出版社、2023年3月）としてとりまとめた。

(2) 得られた成果の国内外における位置づけとインパクト

本研究は、都市と農山村の関係に着目した社会システムのあり方を模索する一連の研究に位置づけられる。

計画学を中心とした都市と農山村の関係に関する学術研究では、1990年代から2000年代前半は移住者を「理解する」ことが中心であったが、2000年代後半以降は地域における移住のあり方を「検証する」ことに関心が移っている。周辺領域でも、「ネオ内発的發展論」、「田園回帰」をキーワードにした政策的議論、「正統的周辺参加論」、「T型集落点検」による分析などの研究蓄積がある。いずれの研究蓄積も地域外との関わりから地域のあり方を論じようとするものである。本研究はこれらの研究蓄積に依拠しながら、「住み継ぎ」という概念を元に、地域内部に軸足を置いた地域内外のネットワークによって、地域が住み継がれる社会の展望を描いたところに意義があるといえる。

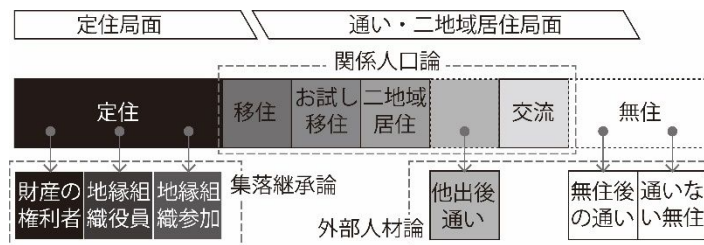
2014年からはじまった地方創生政策以降、各地域で人口増を目指す施策展開が目指され、移住を促すための都市住民の意向調査や移住者と地域住民に着目した研究が重ねられている。「住み継ぎ」という概念を手がかりに、必ずしも人口増ではない、少人数で地域社会を継承することを前提とし、継承されるものの具体化、第三者の介在、信頼の見える化といった研究で得られた知見によって、その社会的なシステム構築にむけた地域社会の展望を描いたところに本研究の意義がある。

また、研究成果の意義を説明するために、研究当初掲げた「住み継ぎの段階性」を図のように更新した。

人口減少に対して「特定の地域に継続的に関心を持ち、関わるよそ者」（田中輝美・2021）が関わる可能性が関係人口論として示された。地域内外の主体が協働で地域づくりに関わる可能性を開いたといえる。一方で、地域の課題

解決を想定した場合、地域に関心を持つよそ者だけでは、その課題解決も難しいことも見えてきた。田口（2023）によって、「少人口・多人数社会によるネットワーク型自治」の概念が提示され、徳野（2008）によって示された「T型集落点検」とその実践の流れのなかで、外部人材論を深化、精緻化している。さらに本研究では、定住者の多様性にも着目するなかで、地域資源、またそれを支える担い手を少人数でいかに継承することができるかという問いを立てた。この集落継承論の論点から、継承に向けた要因と方法について明らかにした（柴田・2003）。

これら3つの論点は、それぞれが単独で成立するものではなく、密接に関連しているものである。よそ者、他出者をはじめとした外部人材と定住者、そしてこれら各主体の関連によって、地域が継承される展望を見いだした点に本研究の意義があるといえる。



「住み継ぎの段階性」の概念図の拡張：研究当初に掲げた「住み継ぎの段階性」の概念図を更新した。従来の関係人口論に加えて、外部人材論を深化、精緻化した。さらに集落継承論への端緒を開くことができた。

(3) 今後の展望

地域内部に軸足を置き地域内外のネットワーク形成により地域社会をとらえようとした点、「住み継ぎ」という概念を元に地域社会を次世代へ継承する可能性を展望した点に本研究の意義がある。しかし、地域内外のネットワーク形成については各地の事例分析によって実証的にとらえることができたが、次世代への継承の可能性については、事例の蓄積は不十分であり、実証的な議論をするためには課題が残ったといえる。今後に向けて、さらなる実証的な研究蓄積が必要である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計65件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 平田隆行	4. 巻 Vol.39
2. 論文標題 漁村集落の事前復興 和歌山県での試み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 p.39-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 佐久間康富・鍋島美奈子・内田佐和・渡邊洗輝	4. 巻 27巻 65号
2. 論文標題 高床式砂栽培農法の農作業による地域コミュニティ形成におけるコミュニティ・マネージャーの役割について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 446-451
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3130/aijt.27.446	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 大野沙知子・穂苅耕介・佐久間康富	4. 巻 27巻 65号
2. 論文標題 農山村集落における地区外家族の通いの実態と防災情報共有MAPの開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 412-417
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3130/aijt.27.412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 加藤翔太・佐久間康富	4. 巻 18巻
2. 論文標題 設置管理許可制度を活用した都市公園における公共性と収益性の担保のあり方 - 天王寺公園エントランスエリア「てんしば」を事例に -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本都市計画学会第18回関西支部研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 13-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11361/cpi.jkansai.18.0_13	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 宮下達平, 姫野由香, 指方綾乃, 轟木龍介	4. 巻 第60.3号
2. 論文標題 農山村地域における交流施設の立地の特徴と利用者属性 - 大分県竹田市における住み継ぎの段階性にみる交流施設の実態その1 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 301 ~ 304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 轟木龍介, 姫野由香, 指方綾乃, 宮下達平	4. 巻 第60.3号
2. 論文標題 農山村地域における交流施設の建築的特徴 - 大分県竹田市における住み継ぎの段階性にみる交流施設の実態その2 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 305 ~ 308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴崎 浩平, 中塚 雅也, 内平 隆之, 星野 敏	4. 巻 39
2. 論文標題 都市近郊のため池管理における次世代の人材確保の方法 : 管理作業環境のデザインに着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 175 - 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 -
2. 論文標題 農山村における「自治」の再定義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 2020年度日本建築学会農村計画委員会研究協議会資料	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 542
2. 論文標題 地域の“魅力”再発見	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 「通信耀」2020年7月号	6. 最初と最後の頁 34-36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 46
2. 論文標題 コロナ禍に出来る地域づくり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ECPR	6. 最初と最後の頁 12-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 -
2. 論文標題 地域自治を担う地域人材育成の必要性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和2年度過疎対策担当職員研修会 特別寄稿集	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田加奈子、岡田知子	4. 巻 第50巻
2. 論文標題 豊前市における神楽奉納の実態と地域コミュニティの継承について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西日本工業大学紀要理工学編	6. 最初と最後の頁 71-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木佳子	4. 巻 Vol.39
2. 論文標題 漁村における地域づくりの展開と可能性 和歌山市加太の地域ラボを事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 pp.37-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田祐	4. 巻 111(11)
2. 論文標題 2016年熊本地震からの復興 : まちづくり協議会の取り組み事例から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 29-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田祐	4. 巻 -
2. 論文標題 熊本豪雨被災地の現状と課題 ~熊本県八代市坂本町を対象として~	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第19回 都市水害に関するシンポジウム論文集	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新初ひかる・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 豪雨による被災と球磨川流域における暮らしに関する研究~八代市坂本町を事例に~	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 265-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤瑠華・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 熊本地震における集落内の自主避難拠点の実態に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 273-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 淵上修法・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 集落の限界化と住民の関わりの深さに関する研究～阿蘇郡西原村河原地区を対象として～	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 389-392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大城透子・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 集落活動からみた移住者の受け入れに関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 393-396
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野恵里花・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 家族経営を引き継ぐ新規就農者の意識の変化に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 397-400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀧下咲・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 農村部における自治会の新型コロナウイルスへの対応に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 401-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松下瑞歩・柴田祐	4. 巻 第60号計画系
2. 論文標題 熊本県における廃校利活用の検討のプロセスに関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 425-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田祐	4. 巻 70(2)
2. 論文標題 熊本地震の復興における東日本大震災からの学び：復興まちづくりを中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 68-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田祐	4. 巻 39(4)
2. 論文標題 令和2年7月豪雨被災地の現状と課題：熊本県八代市坂本町を対象として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 378-381
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澤田昂彬・森傑・野村理恵	4. 巻 93
2. 論文標題 公営住宅入居者の外出行動にみる地域交流の特徴 人口約5,000人の北海道上土幌町を対象として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会北海道支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 209-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野村理恵	4. 巻 101
2. 論文標題 夏山冬里のいま	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 建築と社会	6. 最初と最後の頁 38-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野村理恵	4. 巻 682
2. 論文標題 北海道における地域の生活環境構築に資する移動販売事業の考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 開発こうほう (北海道開発協会)	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大伏玄泰・森傑・野村理恵	4. 巻 54
2. 論文標題 移動販売の利用拠点づくりの試行錯誤からみた地域生活の課題分析 - 北海道の過疎地域における事業展開に注目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市学会年報	6. 最初と最後の頁 193-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 穂苅耕介・佐久間康富・大野沙知子	4. 巻 -
2. 論文標題 集落固有の行儀事との関連に着目した他出子を含めた圏域の再編による山間集落の支援のあり方 愛知県新城市における冷蔵庫に貼れる『暮らしと防災MAP』制作を通じて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 越境地域政策研究論集（愛知大学三遠南信連携研究センター）	6. 最初と最後の頁 305-315
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 澤井佑・佐久間康富	4. 巻 No.18
2. 論文標題 オールドニュータウンの立地適正化計画上の位置づけと現状と課題に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 78-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐久間康富	4. 巻 vol.110
2. 論文標題 地方移住希望者の住まいとしての空き家の利活用（特集2 地方移住を考える）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市問題（公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所）	6. 最初と最後の頁 66-79
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内平 隆之, 安枝 英俊	4. 巻 -
2. 論文標題 地域継業と住み継ぎ支援 -播磨地域を事例に-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会(北陸)農村計画部門PD資料集	6. 最初と最後の頁 p.29-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡田知子	4. 巻 -
2. 論文標題 地域に内在する減災システムと再生計画のあり方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会（北陸）農村計画部門研究協議会資料	6. 最初と最後の頁 41-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野田満・上村真仁・不破正仁・野村理恵	4. 巻 89
2. 論文標題 観光圏整備事業の運用における今日的課題に関する基礎的研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会関東支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 319-322
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安間理子・森傑・野村理恵	4. 巻 92
2. 論文標題 過疎集落の持続を目指す山村留学環境と移住者の地域定着との関係 東神楽町志比内地区を事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会北海道支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 267-270
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 八木健太郎	4. 巻 134巻1724号
2. 論文標題 周防灘の向こう側の世界へ - 美しい風景を継承するために	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 建築雑誌	6. 最初と最後の頁 p.20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田 祐・大毛詩織	4. 巻 -
2. 論文標題 甌島出身者の能動的なUターンの特徴	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会（北陸）農村計画部門パネルディスカッション資料 少人数社会の展望 - 担い手とその支援のかたち -	6. 最初と最後の頁 39-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田 祐・内川祐佳	4. 巻 -
2. 論文標題 熊本地震の被災地におけるまちづくり協議会による集落の復興	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会（北陸）農村計画部門研究協議会資料 ポスト巨大災害復興期の持続的・包括的計画パラダイム - 地域と生活目線から見た新時代・令和の計画論 -	6. 最初と最後の頁 73-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木佳子	4. 巻 -
2. 論文標題 地域計画のための地域性の探求	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会（北陸）建築計画部門研究懇談会「建築・都市・農村計画研究者の方法論的転換」	6. 最初と最後の頁 36-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 姫野由香, 太田裕喜	4. 巻 -
2. 論文標題 地方移住の段階ごとに生じる課題と移住支援策の実態 - 大分県国東市と竹田市の移住者と地域おこし協力隊を事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会（北陸）農村計画部門パネルディスカッション資料	6. 最初と最後の頁 55-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田諒、平田隆行、戸田拳士朗	4. 巻 No.14
2. 論文標題 中山間地域における非居住住宅 - 「空き家」と「郷家」に着目したアンケート調査より -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会住宅系研究報告会論文集	6. 最初と最後の頁 pp.59-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木佳子	4. 巻 vol.1733
2. 論文標題 2019年度日本建築学会(北陸)PD「少人数社会の展望 担い手とその支援のかたち」概要報告	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 建築雑誌	6. 最初と最後の頁 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遊佐敏彦	4. 巻 34
2. 論文標題 Medicine-Based Town 医学を基礎とするまちづくり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本都市計画学会関西支部だより	6. 最初と最後の頁 pp.4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菊池絵梨子, 藤田晃巨, 姫野由香, 濱田菜波	4. 巻 第59.3号
2. 論文標題 大分県豊後大野市緒方盆地における集落構成 - 集落構成・生活空間特性と生業の関係 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 453-456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 指方綾乃, 姫野由香, 靄梨佳, 宮下達平	4. 巻 第59.3号
2. 論文標題 大分県竹田市における移住支援策の変遷と地域おこし協力隊の実態 - 地方都市における移住・定住の促進に関する研究 その1 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 453-456
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮下達平, 姫野由香, 靄梨佳, 指方綾乃	4. 巻 第59.3号
2. 論文標題 大分県竹田市における地域おこし協力隊が運営に携わる交流施設の変遷と連携の実態 - 地方都市における移住・定住の促進に関する研究 その2 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 457-460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保 直・柴田 祐	4. 巻 第59号
2. 論文標題 南阿蘇村黒川地区の学生村における住民と学生のつながりに関する研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会研究報告 九州支部	6. 最初と最後の頁 445-448
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山崎義人	4. 巻 -
2. 論文標題 2020年代の集落論 第三の道「森化」を探ろう 『現場からの農村学教室177』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本農業新聞	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田隆行	4. 巻 -
2. 論文標題 30年後も住んでいる住人のアンケート回答	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度 由良町復興計画事前策定業務報告書	6. 最初と最後の頁 pp.28-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芝野琴女・田中友理	4. 巻 -
2. 論文標題 生徒数推移と通学距離からみた由良町の小中学校の立地評価	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度 由良町復興計画事前策定業務報告書	6. 最初と最後の頁 pp.24-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芝野琴女	4. 巻 -
2. 論文標題 由良町の人口動態と住民アンケートからの推計する地震津波被害と復興	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度 由良町復興計画事前策定業務報告書	6. 最初と最後の頁 pp.20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間康富・高和雄	4. 巻 第49巻5号
2. 論文標題 「空いていない空き家」を地域資源として活用する(特集:急がれる空き地・空き家の管理 - 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の成立)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地方議会人、株式会社中央文化社	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間康富	4. 巻 第102号
2. 論文標題 空き家の利活用に対する地域社会の役割 - 「少人数社会」の仕組みの創造への期待(特集: 地域は人が つくる ~移住と交流人口の拡大に向けて~)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NETT (一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所機関誌)	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間康富	4. 巻 第63巻6号
2. 論文標題 「住み継がれる」概念と「縮み方のシナリオ」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊地理	6. 最初と最後の頁 62-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 51-8
2. 論文標題 地域づくり支援人材の育成ツール ~地域づくりコーディネート・ゲーム~	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地方自治職員研修	6. 最初と最後の頁 24-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎・益尾孝祐	4. 巻 -
2. 論文標題 2007年中越沖地震復興まちづくりにおける住民によるまちづくり	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画委員会研究協議会資料「復興まちづくりと空間デザイン技術」	6. 最初と最後の頁 75-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 102
2. 論文標題 移住者，関係人口を地域の活力にどうつなげるか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NETT 2018年秋号	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 67
2. 論文標題 地域おこし協力隊の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 市政 2018年11月号	6. 最初と最後の頁 32-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 25
2. 論文標題 住民による主体的まちづくりを初動させる「先よみワークショップ」の開発	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 315-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aijt.25.315	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野隆	4. 巻 74巻
2. 論文標題 山古志村 限界を越えて、つながる	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ビオシティ	6. 最初と最後の頁 94-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤原ひとみ	4. 巻 67
2. 論文標題 現場からの報告 大牟田市における空き家対策 (特集 空き家問題を解くパートナーシップ)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 住宅	6. 最初と最後の頁 43-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 縄田諒、平田隆行、戸田拳士朗	4. 巻 No.13
2. 論文標題 中山間地域における9年間の空き家動態 - 和歌山県・紀美野町における空き家悉皆調査より -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会住宅系研究報告会論文集	6. 最初と最後の頁 117-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間康富・嵩和雄	4. 巻 第70巻第2号
2. 論文標題 田園回帰における空き家利活用の課題と可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 29-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田口太郎	4. 巻 2019年早春号
2. 論文標題 地域コミュニティと関係人口	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 100万人のふるさと	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計19件（うち招待講演 4件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 宮下達平, 姫野由香, 指方綾乃
2. 発表標題 大分県竹田市における地域おこし協力隊が運営に携わる交流施設の実態- 地方都市における移住・定住の促進に関する研究 -
3. 学会等名 日本都市計画学会九州支部ポスターセッション
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Toshihiko YUSA
2. 発表標題 Medicine-Based Town
3. 学会等名 Janan-Korea Symposium - Participatory town development and Infectious disease (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 遊佐敏彦
2. 発表標題 医学を基礎とするまちづくり
3. 学会等名 UDCBKアーバンデザインスクール (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮下達平, 姫野由香, 指方綾乃
2. 発表標題 地方都市における移住・定住の促進に関する研究 - 大分県竹田市における地域おこし協力隊が運営に携わる交流施設の実態 -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集 (関東)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 芝野琴女・平田隆行
2. 発表標題 人口動態と住民アンケートから推計する地震津波被害とその復興 和歌山県日高郡由良町を対象に
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 戸田拳士朗・縄田諒・平田隆行
2. 発表標題 道路脇に設置された無人販売所の経営に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田諒・平田隆行・戸田拳士朗
2. 発表標題 道路脇に設置された無人販売所の立地に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森山向陽・平田隆行
2. 発表標題 中山間地域における空き家のDIY賃貸利用に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤翔太・佐久間康富
2. 発表標題 公共空間における仮設物の構成と配置が通過者の滞留行動に及ぼす影響 大阪府阪南市サラダホール前公共空間を事例として
3. 学会等名 2019年日本建築学会大会学術講演梗概集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 富増弥希・藤原 ひとみ
2. 発表標題 住宅確保要配慮者に対する大家が持つ不安の実態と実効的な入居支援に関する研究 大牟田市・荒尾市の不動産業者を対象として
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川智哉・藤原 ひとみ
2. 発表標題 熊本地震被災者に対する住情報提供に関する研究 益城町 を事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田加奈子・岡田知子
2. 発表標題 豊前神楽における神楽と地域コミュニティの継承について - 福岡県京築地区の神楽舞台の研究その7 -
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安間理子・森傑・野村理恵
2. 発表標題 過疎集落の持続を目指す山村留学環境と移住者の地域定着との関係 東神楽町志比内地区を事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉水久乃・森傑・野村理恵
2. 発表標題 外国人の居場所の獲得プロセスからみる地域のたまり場の性質 北海道ニセコエリアを対象として
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤波輝・中桐齊之・内平隆之
2. 発表標題 ドローンと全天球カメラを用いた地域観光PRの有効性についての比較検証
3. 学会等名 情報処理学会第81回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木佳子
2. 発表標題 和歌山市加太における地域づくりの可能性
3. 学会等名 日本建築家協会 近畿支部和歌山地域会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 縄田諒、平田隆行、戸田拳士朗
2. 発表標題 中山間地域における9年間の空き家動態 - 和歌山県・紀美野町における空き家悉皆調査より -
3. 学会等名 日本建築学会住宅系研究報告会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 富増弥希, 藤原ひとみ
2. 発表標題 居住支援協議会の実態調査と今後の支援の在り方に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡田知子、柴田加奈子
2. 発表標題 東日本大震災後における神社の立地と被害および復興の実態 - 震災復興計画のあり方に関する研究その21 -
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 佐久間康富（筒井一伸編著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 230
3. 書名 田園回帰がひらく新しい都市農山村関係 - 現場から理論まで（第5章 移住者受け入れによる住まいのつなぎ方、を担当）	

1. 著者名 清野隆（室崎益輝監修、橋本俊哉編著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 創成社	5. 総ページ数 178
3. 書名 「復興のエンジン」としての観光（第4章「災害復興におけるコミュニティの力」（pp69-84）を担当）	

1. 著者名 武田重昭・佐久間康富・阿部大輔・杉崎和久編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学芸出版社	5. 総ページ数 240
3. 書名 小さな空間から都市をプランニングする	

1. 著者名 田口太郎（椎川 忍，小田切 徳美，佐藤 啓太郎，地域活性化センター，移住交流推進機構編著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 344
3. 書名 地域おこし協力隊 10年の挑戦（第 部3章 住民自治と協力隊 「地域戦略としての協力隊思考」のすすめ）	

1. 著者名 内平隆之（中塚雅也編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 神戸大学出版会	5. 総ページ数 288
3. 書名 農業・農村の資源とマネジメント（「地域協働プロジェクトによる人材育成」の章を担当）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山崎 義人 (Yamazaki Yoshito) (60350427)	東洋大学・国際学部・教授 (32663)	
研究分担者	清野 隆 (Seino Takashi) (70598200)	國學院大學・研究開発推進機構・准教授 (32614)	
研究分担者	野村 理恵 (Nomura Rie) (20599104)	北海道大学・工学研究院・准教授 (10101)	
研究分担者	遊佐 敏彦 (Yusa Toshihiko) (10507875)	奈良県立医科大学・医学部・講師 (24601)	
研究分担者	内平 隆之 (Uchihira Takayuki) (70457125)	兵庫県立大学・地域創造機構・教授 (24506)	
研究分担者	八木 健太郎 (Yagi Kentaro) (30352222)	広島大学・人間社会科学研究科(教)・准教授 (15401)	
研究分担者	田口 太郎 (Taguchi Taro) (20367139)	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部(社会総合科学域)・准教授 (16101)	
研究分担者	平田 隆行 (Hirata Takayuki) (60362860)	和歌山大学・システム工学部・准教授 (14701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	青木 佳子 (Aoki Yoshiko) (70815860)	東京大学・生産技術研究所・助教 (12601)	
研究分担者	柴田 祐 (Shibata Yu) (90444562)	熊本県立大学・環境共生学部・教授 (27401)	
研究分担者	姫野 由香 (Himeno Yuka) (10325699)	大分大学・理工学部・助教 (17501)	
研究分担者	藤原 ひとみ (Fujiwara Hitomi) (90648552)	有明工業高等専門学校・創造工学科・講師 (57102)	
研究分担者	岡田 知子 (Okada Tomoko) (30258503)	西日本工業大学・デザイン学部・教授 (37110)	
研究分担者	髙 和雄 (Kasami Kazuo) (60528818)	國學院大學・研究開発推進機構・准教授 (32614)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------